

事務事業評価票 [市単独補助金]

平成 26 年度

		担当課		農林水産課	
基本事項	補助金(事業)名	雇用労力支援システム事業補助金			整理番号 1403
	根拠法令等	島原市農林水産業振興事業補助金交付要綱		実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる 節 第1節 農林業の振興	予算科目 6款1項3目	区分	○継続 <input checked="" type="radio"/> 新規 奨励・助成
事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	島原雲仙農業協同組合			実施期間 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 24 年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 26 年度まで
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	農家人口の減少、農業従事者の高齢化、後継者不足などにより、経営体内での労力確保が難しくなってきており、経営規模の維持・拡大に対して雇用労力への依存度が高まっている。 このような中で、農作業に必要な労力を安定的に確保できるシステムづくりが課題となっている。			
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	担い手農家の規模拡大等に必要な労力を安定的に確保し強い経営体の育成を図るため、労力支援システムを構築する。			
補助金交付内容等 (積算基礎等)	農作業労力支援システムの構築に対して支援する。 ・労力支援システムの経費から収入(利用料+県補助金)を引いた金額の1/2を3市で補助する。 ・3市の補助割合は、農援隊の人数割とする。				
	年度区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績
事業費等の推移	補助金交付額(千円)		4,253	6,864	6,864
	① 団体等事業費(千円)		4,253	97,617	
	② 岁入内訳(千円)	会費等	0	71,910	
		前年度繰越金	0	0	
	市補助金		4,253	6,864	
	その他の助成金			18,843	
	その他雑収入				
	次年度繰越金(②-①)	0	0	0	0
25年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載)(単位:円)					
項目		金額	項目		金額
賃金		84,393,049			
リース料		9,914,440			
燃料費		2,117,297			
小農具費		129,843			
健康診断費		227,823			
作業衣料費		30,920			
事務費		803,481			
補助金の使途についての特記事項等					

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析

視 点	現 状 分 析	説 明
① 助成事業の効果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	担い手農家の規模拡大等に必要な労働力を安定的に確保することにより、強い経営体の育成と産地の維持・強化につながっている。
② 市の関与の必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	農業者が弾力的に活用できる労力支援システムの構築と円滑な運営を進めていくためには、県、市、農協が連携し体制を整備していく必要がある。
③ 団体の事業内容や助成の在り方等の見直し必要性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	継続性のある労力支援システムを構築するため、平成25年度より農作業ヘルパー（農援隊）を組織する農協に対して支援を行うように見直しを行った。 農援隊を定着化させるためには、見直しの必要はないと思われる。

○総合評価と今後の方向性

総 合 評 価	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的方向性 <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) → () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) → ()
	判 定 理 由	農業従事者の高齢化、後継者不足が進んでくるなかで、農作業に必要な労力を安定的に確保できるシステムづくりが大きな課題となっており、本市農業の維持・強化を図るために継続して支援することが必要である。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1～B4の場合)	課 題	
	見 方 向 し し の	

◎2次評価

判 定	A 特段の見直しを行わず、現行のまま継続
備 考	

◎3次評価

判 定	
備 考	

評 価 結 果 を 踏 ま え た 次 年 度 予 算 へ の 反 映 状 況 (□)				
<input type="checkbox"/> 補助額の削減	<input type="checkbox"/> 補助額の増加	<input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	⇒ 予算措置額の増減 0 千円
備 考	(雇用労力支援システム事業補助金)			